

## 私たちは、いま議会改革に取り組んでいます

【表1】 令和7年度 補正予算(1月) (単位:千円)

会計別	補正前の額	補正額	予算総額
一般会計(第4回)	168,076,299	2,792,667	170,868,966

【表2】 令和7年度 補正予算(2月) (単位:千円)

会計別	補正前の額	補正額	予算総額
一般会計(第5回)	170,868,966	△1,723,937	169,145,029
国民健康保険特別会計(第2回)	21,360,560	△300,788	21,059,772
介護保険特別会計(第2回)	18,394,111	△733,718	17,660,393
後期高齢者医療特別会計(第2回)	6,498,942	388,466	6,887,408
合計	217,122,579	△2,369,977	214,752,602

【表3】 令和8年度 当初予算 (単位:千円)

会計別	予算総額
一般会計	160,482,000
国民健康保険特別会計	20,758,000
介護保険特別会計	17,680,000
後期高齢者医療特別会計	6,854,000
合計	205,774,000

# 令和8年度予算決まる

2月定例議会では、予算審査特別委員会を設置し、令和8年度当初予算案の審議を行い、一般会計及び3特別会計の予算成立を始め、条例改正、補正予算など区長提出の合計39議案を審議し、いずれも原案どおり可決しました。

なお、議案に対する議決結果と各会派の賛否を2面に掲載しています。

## 1月臨時議会

議会期間 1月26日の1日間  
\*区長提出の令和7年度補正予算案の審査を総務区民委員会に付託し、委員会の決定どおり可決しました。(左記表1)

## 2月定例議会

議会期間 2月9日から3月17日までの37日間  
\*区長から区政運営について施政方針が述べられました。

議会期間 2月9日から3月17日までの37日間  
\*代表質問(AGORA、公明党、永久の会:3面掲載)

議会期間 2月9日から3月17日までの37日間  
\*議員提出の3議案、区長提出の30議案及び請願10件の審査を、それぞれ所管委員会に付託しました。そのうち、区長提出の1議案については、建設委員会を即日開催して審査し、委員会の決定どおり可決しました。

議会期間 2月9日から3月17日までの37日間  
\*17人の委員で構成する予算審査特別委員会を設置し、区長提出の令和8年度各会計の当初予算4議案の審査を付託しました。

議会期間 2月9日から3月17日までの37日間  
\*代表質問(自由民主党、区民が主役、自由民主党) 3面掲載

### 政治倫理条例検討会の設置

区議会議員の政治倫理条例の検討及び調整等を行うため、検討会の設置を1月26日の議会運営委員会で決定しました。今後、議会運営委員会委員をはじめとする15人の議員により、政治倫理条例の制定を目指します。

## 3月臨時議会

議会期間 3月31日の1日間  
\*区長提出の1議案の審査を総務区民委員会に付託し、委員会の決定どおり可決しました。

## 議員提出案件

可決した条例……………1件  
\*文京区議会委員会条例の一部を改正する条例

## 審議した案件

▽区長提出案件……………22件(可決) 9件(可決) 8件(可決) 5件(可決)  
▽議員提出案件……………10件  
\*特別委員会、常任委員会等が開催され、議案等を審査しました。……………(4面掲載)

3月5日～13日  
\*予算審査特別委員会で、令和8年度当初予算4議案を審査しました。……………(2面掲載)  
\*議員提出の条例1件を可決し、3件を否決しました。  
\*区長提出の令和8年度当初予算4議案を付託委員会の決定どおり可決しました。  
\*区長提出の追加5議案の審査をそれぞれ所管委員会に付託し、委員会の決定どおり可決しました。

### 令和8年2月定例議会 請願審査結果

●不採択となったもの

付託委員会	受理番号	件名
総務区民	62	場外馬券売り場(後楽園オフト)の撤去を求める請願
	63	文京区の公共事業に関し、随意契約を結ぶ際は確実に事後検証できるよう「書面」を以て丁寧に事実確認をよう求める請願
	64	大規模な自然災害に際し、文京区民がペットとともに安心・安全に避難できるよう対策強化に向けた調査・研究を求める請願
厚生	65	新型コロナワクチン接種による健康被害の救済を求める請願
	66	子どもたちにワクチン接種に係る情報提供を求める請願
建設	67	区民参画の充実・強化を通じて安心・安全を目指す「文の京」まちづくり基本条例(仮称)の検討に向けた研究を求める請願
	68	都市計画道路「環状3号線」の区内延伸未整備区間は区として「廃止」に向け「対応」し、区民の理解を得よう求める請願
	69	竹早公園の再整備にあたり、防災拠点機能の強化を求める請願
文教	70	オーガニック給食の実現を求める請願
議会運営	71	文京区議会委員会の会議録(速報版)の公開が大幅に遅れる場合、区民に適宜適切に説明をよう求める請願

### 審議した主な案件(要旨)

◎令和7年度文京区一般会計補正予算(第4回)  
食料品等物価高騰対応給付金等に要する経費を計上するものです。  
(第5回)  
ふるさと納税関係経費、障害児通所支援等事業費、私立保育園施設整備補助等を追加するほか、児童手当、最高裁判所本駒込宿舎跡地高齢者施設等準備経費、スポーツ施設管理運営費等を更正するものです。(関連記事4面)

◎文京区「子どもの権利に関する条例」  
文京区における子どもの権利に関する基本理念等を定めるため新たに制定するものです。(関連記事4面)

※全ての議案は、2面に掲載しています。


### 請願の提出締切時間が正午に変更になります

これまで各定例議会初日2日前の午後5時を締切としていましたが、令和8年6月定例議会から2日前の正午に変更になります。なお、署名簿がある場合の提出締切時間の変更はございません。

令和8年6月定例議会における提出締切日時  
令和8年5月29日(金)正午  
【署名簿ありの場合】令和8年5月26日(火)午後5時

### 小学生の社会科見学を受け入れています

令和7年度は、区立小学校6校が社会科見学の一環として文京区役所を訪れ、防災センターや区議会本会議場などを見学しました。区議会の見学では、普段は入ることができない議場内で、市村議長より議場の特徴などを紹介した後、事務局職員が議会について説明しました。議会の説明では、実際に子ども達が議長や区長を体験する模擬議会を実施するなど、議員の役割や議会の活動に興味を持ってもらえるよう取り組んでいます。



昭和小学校の社会科見学にて議場で挨拶する市村議長

予算審査特別委員会報告(要旨)

令和8年度当初予算案を審議するため、2月9日の本会議で17人の委員で構成された予算審査特別委員会は、委員長に山田ひろこ委員(自由民主党)、副委員長に岡崎義顕委員(公明党)を選出し、3月5日から13日まで審査を行いました。一般会計及び3特別会計予算案を、いずれも原案どおり可決すべきものと決定しました。

審査に際し、一般会計の修正案が日本共産党及び区民が主役から提出されましたが、審査の結果、否決されました。

○総括質疑
新たな予算編成手法の成果について伺う。

答 8年度当初予算の編成にあたっては、昨年度に引き続き「一般財源各都府」という手法を用い、現場の視点を重視しながら、各部の主体的・自律的な予算編成に取り組んだ。

その結果、54の重点施策に約219億円を計上し、主要課題の解決につながる施策や、区制80周年記念に関する施策などを力強く推進するための予算が編成できたと認識している。

○一般会計―歳出(意見・要望)
①今年度、広報課が広報戦略課に名称変更し、「伝える広報」から「伝える広報」として、SNSをはじめとするデジタル広報の取組を活性化させたことを高く評価する。

今後は、この広報戦略をさらに深化させるため、こどもメディアパートナーを通じて若者の声を取り入れるとともに、情報拡散能力のある企業・団体やインフルエンサーとの連携など、多様な広報手段を積極的に検討し導入すること。

②担い手不足等により町会活動に地域差が生じていることは、長年の課題である。来年度、新たに実施する町会自治会加入促進パンフレット等新支援事業においては、区は補助金交付に留まらず、特に若いファミリー層に対して、効果的にアプローチできるようなデザインとなるよう、パンフレット作成に伴走的な支援を行うこと。

③デジタル商品券の利便性向上のため、区民が日常的に利用する店舗の加盟拡大や検索性の向上が求められる。一口1万円といった金額設定の検証も行い、さらにデジタル決済に伴う店舗側の手数料負担の実態を把握し、区として可能な支援を検討すること。

④令和8年4月のことこの権利に関する条例施行に伴い、相談救済機関として設置することの権利擁護委員については、こどもの意見を尊重すること。校則等学校における指導との適切な線引きや調整の在り方も予め検討して進めること。条例の理念実現のため、様々な支援策を束ねた「こどもみらい☆応援パッケージ」が展開されるが、こどもたちの未来のための長期的な取組として、適切なマイルストーンを設定し、着実に推進すること。

⑤民泊は、全国各地で問題となっており、区内でも約300件と増加し、区民からは住環境悪化についての切実な懸念の声が上がっている。区民の住環境を守る立場として、営業日数や営業区域のさらなる規制、住民説明会の義務化、行政指導の強化、違反事業者の登録取り消しなどの規制強化策について、早急に検討すること。

予算に対する各会派の態度(要旨)

自由民主党

物価高や円安、原油価格の高騰などの影響により、家計への負担が依然として大きい状況が続いている。

当該予算は、こうした課題に対応するため、国や都の交付金も活用しながら、区民の課題解決を図り、安心して暮らす地域社会の実現を目指す予算であることを確認した。

子育て支援、防災力の強化、高齢福祉施策の充実、町会・中小企業支援、教育環境の計画的な整備など、区民サービスのさらなる充実に向け、持続可能な行政運営を図るとともに、歳入確保対策への一層の努力を求め、自由民主党文京区議会は4会計予算に賛成する。

米国のイラン攻撃に国際法違反と言えない自民政権の社会保障削減で、福祉を支える区独自の扶助費は一般会計の僅か1%なのに、シビックヘ265億円超を注ぎ込む改修を続ける一方、シルバピアを22年間増やさず、公園トイレの老朽和便器設置は大問題。7年度余る見込みの税金60億円超で教材・修学旅行費ゼロ、補聴器補助二倍化、資源回収コンテナ区管理等を、一般、国保、介護、後期医療に反対。

公明党
令和8年度予算は各々が現場の視点を重視し創意工夫によって選定され、区民ニーズを捉えた事業で構成されていることを確認した。今後は一層「生活者に寄り添う温かさ」と「将来世代に責任を持つ持続可能な財政運営」の両立で、区民に安心と希望を届ける区政運営を要望し、4会計予算案に賛成する。

日本共産党
特別交付金増額を評価。民泊事業は運用規制の強化を。おもいやり駐車場の早期設置。AIデジタルツールの活用促進。5歳児健診は実効性ある取組を。介護人材確保。カスハラマニュアルの早期作成を要望し4会計予算に賛成。

永久の会
変化する多様な区民ニーズを的確に捉え、更なる区民福祉の向上に努め、引き続き住み続けたいと思える文京区を構築し、区政運営には万全を期されるよう要望して、愛と感謝をもって令和8年度4会計予算を全て賛成する。

市民
物価高騰対策、区内事業者への支援拡充、学校教育環境の更なる改善と整備、町会・自治会支援、こども・若者支援の充実を求める。一般会計、国保会計、介護保険会計は賛成、後期高齢者医療会計は反対。

AGORA

宅配ボックス設置費用助成、障がい者アート展示拡大、槐の会新施設、眼科検診、5歳児健診など会派政策の実現を評価。中小企業DX、商店街振興策、国産木材利用、自転車ルール啓発、公園暑さ対策、教育費保護者負担軽減、物価高騰対策、育成室の増室若者支援、マンション防災支援等を求め4会計予算に賛成。

区民が主役
新規の施策である小中学校の就学時に10万円・5万円を支給する教育費保護者負担軽減事業は生活保護世帯を含む就学援助世帯に支給がない。用途が制限されない祝い金の性質が大きい以上、公平性の観点からも該当学年の全世帯に支給し教育環境の充実を図るべきと考え一般会計予算案に反対。3特別会計には賛成。

文京維新
特別交付金増額を評価。民泊事業は運用規制の強化を。おもいやり駐車場の早期設置。AIデジタルツールの活用促進。5歳児健診は実効性ある取組を。介護人材確保。カスハラマニュアルの早期作成を要望し4会計予算に賛成。

変化する多様な区民ニーズを的確に捉え、更なる区民福祉の向上に努め、引き続き住み続けたいと思える文京区を構築し、区政運営には万全を期されるよう要望して、愛と感謝をもって令和8年度4会計予算を全て賛成する。

市民
物価高騰対策、区内事業者への支援拡充、学校教育環境の更なる改善と整備、町会・自治会支援、こども・若者支援の充実を求める。一般会計、国保会計、介護保険会計は賛成、後期高齢者医療会計は反対。

議案に対する議決結果と各会派の賛否

令和8年1月臨時議会

Table with columns: 付託委員会, 議案番号, 件名, 賛成, 反対, 結果. 区長提出議案: 令和7年度文京区一般会計補正予算 (可決)

令和8年2月定例議会

Table with columns: 付託委員会, 議案番号, 件名, 賛成, 反対, 結果. 区長提出議案: 71-89 (可決). 条例: 81-89 (可決).

Table with columns: 付託委員会, 議案番号, 件名, 賛成, 反対, 結果. 予算審査特別: 63-70 (可決). 総務区民: 92-94 (可決). 厚生: 90-96 (可決). 建設: 91, 100 (可決). 文教: 95, 101 (可決). 議員提出議案: 議3 (否決), 議4 (否決), 議5 (可決), 議6 (可決).

\*1 議案番号71～89、63～66、90、92～96における出席議員は7名
\*2 議案番号97～99、67～70、100、101、議3～議6における出席議員は3名

令和8年3月臨時議会

Table with columns: 付託委員会, 議案番号, 件名, 賛成, 反対, 結果. 区長提出議案: 102 (可決).

会派の略称 自…自由民主党文京区議会、共…日本共産党文京区議会議員団、公…公明党文京区議団、A…政策チーム AGORA、区…区民が主役の会、維…文京区議会日本維新の会、永…文京永久の会、市…市民フォーラム、子…ぶんきょう子育て・ネット、誉…自由民主党「誉」

右記のQRコードから各ホームページをご覧ください。

インターネット議会中継



議案等の議決結果



請願の審議結果



代表質問



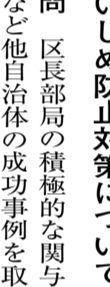
AGORA 沢田 けいじ



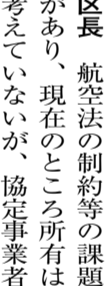
公明党 松丸 昌史



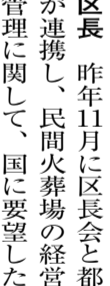
永久の会 山本 一仁



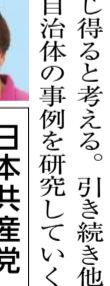
自由民主党 浅川 のぼる



自由民主党 名取 顕一



自由民主党 のぐちけんたろう



文京維新 高山 かずひろ



日本共産党 板倉 美千代



区民が主役 小林 れい子

質問の掲載は、本会議での質問会派順です。

**住み続けたいのに住み続けられない声の可視化**  
問 高所得層を呼び込むまちづくりが地価・家賃の高騰を加速し、若者や現役世代が区外へ流出するジェントリフィケーション問題について何う。区長 地価や家賃が高騰しても全世代が安心して住み続けられるまちづくりが重要。世論調査等で区民の定住意向を把握して施策に活かす。

**障がい児の「18歳の壁」**  
問 令和8年度重点施策に日中一時支援事業所の運営費及び開設費用の補助を盛り込んでいるが、どのような事業者が対象となるのか何う。区長 区内障害福祉サービス事業所等に協力を求めている。今後、利用者の送迎等の課題も含め、事業所と協議を重ね、事業実施に向けて進めていく。

**「ご当地マンホール作製を**  
問 自治体独自のマンホール蓋は、区の魅力を発信する新たな取組と思うが作製出来ないか。作製する場合、何か所が対象となるのか何う。区長 区内のマンホール数は把握していない。設置には都と協議の必要もあり、現時点で製作予定はないが、魅力発信の手段として研究していく。

**いじめ防止対策について**  
問 区長部局の積極的な関与など他自治体の成功事例を取り入れてはどうか。区のいじめ対策と今後の展開を何う。教育長 アンケートやカウンセラーによる相談、弁護士等によるいじめ防止授業を実施。区長部局の積極的な関与については、事例を研究していく。

**健全な樹木の維持管理を**  
問 正しい手法の剪定作業が倒木等の未然防止につながる。区の樹木の維持管理を今後どのように展開するの何う。区長 街路樹は毎年、公園樹木は3年ごとに定期剪定を実施。個々の樹木に応じた剪定頻度の導入など、さらにきめ細かな維持管理に努める。

**肥後細川庭園の改修意識を**  
問 令和7年2月の質問で庭園改修の必要性から、庭師等の専門家による調査を勧めたが、その結果と現状を何う。区長 樹林地の見せ方等の助言を受け、改善に向けた取組を進めている。引き続き、公園の魅力向上に努めていく。

**子どもの目の健康について**  
問 学校教育でタブレット端末使用等が一般的となる中、文科省の調査でも視力低下が明らかになっている。本区のごどもたちの目の健康と実態をどのように把握しているか。教育長 毎年度、小中学校の定期健康診断後に調査を行い、視力と眼の疾病や異常について、学校別・学年別・男女別に人数を把握している。

**障害者の芸術活動支援を**  
問 障害者文化芸術活動支援として誰もが利用できるオープンアトリエの設置等、各種事業の取組状況について何う。区長 来年度のアート事業は展示作品の募集対象を拡大し実施。アトリエ設置については引き続き研究を進めていく。

**ドローンの日常的活用を**  
問 区がドローンを直接保有して職員が操縦できれば、日常業務にも活用されることで災害時の円滑活用につながる。と確信するが区の考えを何う。区長 航空法の制約等の課題があり、現在のところ所有は考えていないが、協定事業者と連携し効果的活用を努める。

**文京ナイトユース**  
問 どのような利用者像や効果を見込み、専門的な支援につなげていくのか構想を何う。区長 多様な若者が夜間に気軽に立ち寄れる居場所として社会的自立への援助などの効果を見込む。専門職を配置し、希望に応じて支援につなげる。

**就職氷河期世代への支援を**  
問 23区の採用は何人か。また、区独自で就職氷河期世代への採用枠の創設を要望する。区長 採用は10人。独自の採用予定はないが、特別区の経験者採用試験等で受験機会は確保されているものと認識。

**Bーぐる逆回りルート**  
問 利便性向上のため、逆回りルートの導入を求める。利用率の高いルートで実現を図っているか。また、特定地域の巡回ルート創設を求める。区長 公益性と経済性のバランスや採算性への配慮、乗務員の確保等、様々な問題があり、実現は難しいと考える。

**火葬場の公営化検討を**  
問 区民が安く火葬場を利用できるよう、都や他区と連携し、行政による火葬場の買い取りを含む公営化の検討を要望する。区長 昨年11月に区長会と都が連携し、民間火葬場の経営管理に関して、国に要望した引き続き、都と連携し、区長会において検討する。

**民泊事業の規制強化を**  
問 民泊事業に十分な抑止力を確保し、住民が安心して暮らしている住環境を守るには、条例の上乗せでは限界が見えつつある。国に対して制度改正を求めていく考えはあるか。区長 営業日数管理の厳格化住宅宿泊事業専用物件の法令上の定義化、事業者自身の住居活用履歴を届出要件に追加する等の制度改正について、全国市長会に提案している。

**「おもいやり駐車場」を**  
問 障害者用駐車区画に、既存の車いすマークに加え、ヘルプマークや妊産婦マーク等を併記し、「おもいやり駐車場」として整備することを求める。区長 配慮を必要とする方がより気兼ねなく駐車場を利用できるように、新たな駐車区画及びサイン表示等を設置する。

**ネーミングライツの導入を**  
問 他自治体の先行事例を参考に適正な相場を算定し、区内外の事業者からスポンサーを募り、公共施設での積極的

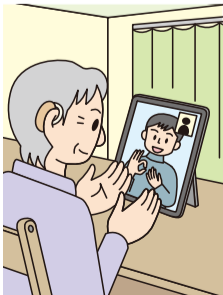
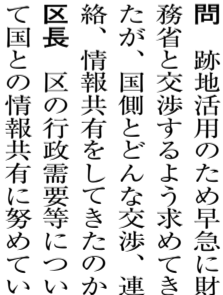
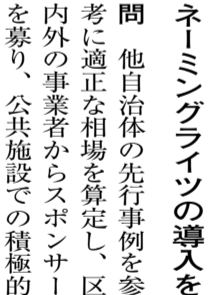
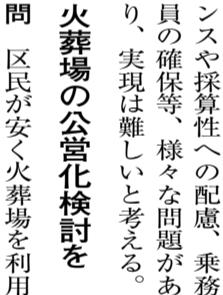
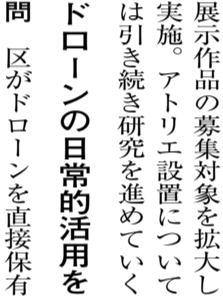
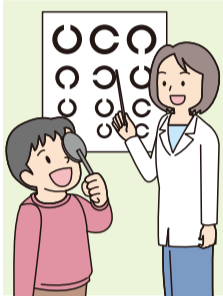
**小石川税務署跡地の活用で不足する区民ニーズ充足を**  
問 跡地活用のため早急に財務省と交渉するよう求めてきたが、国側とどんな交渉、連絡、情報共有をしてきたのか。区長 区の行政需要等について国との情報共有に努めてい

**聴覚障害者にタブレットを**  
問 聴覚障害者の緊急時の情報取得・コミュニケーションのため、手話等のアプリを搭載したタブレットを日常生活用具として給付すべき。区長 国から、アプリと同時にタブレットを給付する場合には日常生活用具の対象となり得るとの見解が示され、現在、課題を整理している。

**高額療養費制度について**  
問 国の高額療養費制度の見直し案は、働きざかり・現役世代のがん患者等にこそ大きな負担となる。実態調査すらしない制度改悪は許されず、区民の負担増について何う。区長 受診内容や所得状況は様々であり、区での負担額算出は困難である。改正は国で議論されるべきものであり、区独自で調査等は行わない。

**水泳授業の外部委託化を**  
問 専門外の教員がプール管理から水泳指導まで担うことは過重な負担であり、令和7年には重大事故も発生している。外部委託化を検討すべき。教育長 現時点で、全ての小中学校での外部委託は困難だが、地域懇談会で室内温水プール整備希望となった千駄木小・文林中では、今後、複数校利用や外部委託等を検討する。

**区民が主役**  
問 国は、国の方針決定後に情報提供されるため、協議を行う段階ではない。



会派の正式名称

AGORA…政策チーム AGORA、公明党…公明党文京区議団、永久の会…文京永久の会、自由民主党…自由民主党文京区議団、文京維新…文京区議会日本維新の会、日本共産党…日本共産党文京区議会議員団、区民が主役…区民が主役の会

委員会活動

常任委員会

2月定例議会並びに1月及び3月臨時議会の議会期間のほか、1月26日に建設・文教委員会を開催しました。

総務区民

1月26日 2月27日・3月2日 報告事項15件 3月17日 報告事項1件 3月31日 報告事項1件

議案に対する主な意見等

●令和7年度文京区一般会計補正予算が提案された。特別区財政調整交付金の増額を評価する。今後も全庁的な研修等により職員全体の財政理解を高め、交付金等歳入の積極的な確保に努めること。

●商店街販売促進事業のデジタル商品券は、若い世代の購入率が低かったことを踏まえ、購入しやすい価格帯の券を導入すること。加えて、決済サービスの手数料補助など店舗側への支援も検討すること。

●放課後等デイサービス事業は、利用者が必要な曜日・時間帯・場所で支援が受けられるよう、実効性のある整備を進め、不足する有資格者の人材確保も支援すること。併せて、総合戦略の主要課題に障害のある子どもの放課後の居場所づくりも結び、子どもの権利に関する条例の視点を持って取り組むこと。

●要保護・重要保護児童等各種補助事業では、国の基準に留まらず、アンケート等で就学援助世帯の実態を把握し、就学援助の拡充により、子育て支援の底上げを図ること。



厚生

2月24日 報告事項9件 3月17日 報告事項1件

報告に対する主な意見等

●複数の火葬場を運営する事業者が区民葬儀から撤退したことを受け、新たに23区共通で区民葬儀の助成制度を開始することが報告された。火葬場は公共性が高いことから、民間事業者の影響を大きく受ける現状を23区全体で見直すことを含め、新しい公平な制度作りを検討すること。

●高齢者等実態調査の結果、約3割の高齢者が孤独・孤立感を抱えていることが報告された。高齢者の約7割がスマートフォンを所有していることから、操作を習得できれば、SNS等を通じて地域の仲間とつながりを持つようになるため、既存のスマホ教室を一対一丁寧な教える形式での開催など、孤独・孤立の防止に向け、支援すること。

●産後うつや新生児への虐待予防等のため、産婦健康診査及び1か月児健康診査への助成を実施することが報告された。産後うつ改善や新生児への虐待防止には、早期対応が重要であることから、産科医と保健師、精神科医等が連携

して、ハイリスクと診断された産婦へのケアを確実に実施する体制づくりを進めていくこと。

●は、報告内容、審査の過程で出された主な意見・要望です。



建設

1月26日 報告事項2件 2月9日 報告事項2件 2月26日 報告事項9件 3月17日 報告事項1件

報告に対する主な意見等

●文京区バリアフリー基本構想(案)について報告された。今回、新たに子どもにも分かりやすい説明動画を作成したことを評価する。説明動画は、バリアフリー啓発のためにも庁内で放映し、学校の授業等でも活用していくこと。

●また、手話も言語のひとつと位置づけ、公共施設とともに、民間施設、鉄道、都バス等も含めて情報のバリアフリー化を一層推進すること。

●耐震化促進事業等の拡充について報告された。助成額引上げや建て替え助成新設等により、耐震化の取組が強化されることを評価する。利用実績向上のため、助成制度が一覧で分かる冊子を作成するなど、周知を工夫すること。

●文京区一般廃棄物処理基本計画(モノ・プラン文京)中間年度見直し版(案)について



文教

1月26日 報告事項2件 2月25日 報告事項8件 3月17日 報告事項1件

報告に対する主な意見等

●子どもの権利に関する条例の最終案について報告された。これまで数多くの場に出向き、意見聴取や啓発を行い、条例制定に至った点を評価する。条例の実効性を高めるため、条例の理念及び子どもの相談救済機関である権利擁護委員について、子どもだけでなく、

教育関連団体等にも幅広く周知すること。低学年の児童には内容理解が難しかったため、周知方法を工夫すること。

●教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価(7年度)について報告された。ICT活用について、学校ごとに差が出ないよう、事例研究や研修に取り組むこと。また、不登校や発達障害のある児童生徒が増加する中、保幼小中で連携してフォローアップ体制を強化すること。

●休日の部活動の地域展開について、運営及び指導を外部委託する計画が示された。部活動の教育的意義を失わないよう、学校と委託先が密に連携すること。休日の地域部活動は参加費が無料と示されたが、今後、平日にも地域展開した際は、費用負担が少なくなるよう検討すること。

議会運営委員会

1月20日・26日・30日、2月9日・20日、3月4日・17日、31日に開催しました。

【主な協議事項】  
・令和8年1月臨時議会について  
・政治倫理条例検討会設置について  
・令和8年度予算案について  
・議席の変更について  
・2月定例議会追加提案事項について  
・議員提出議案について  
・令和8年3月臨時議会について

1月20日・26日・30日、2月9日・20日、3月4日・17日、31日に開催しました。

特別委員会

自治制度・地域振興調査

2月18日 報告事項4件

(1)報告に対する主な意見等  
●湯島総合センターの建替えに係る事業手法と屋内遊び場のコンセプト等について報告された。区初の設計者と計画策定支援事業者の同時公募の手法が示されたが、福祉を含めて多くの施設、機能を有する複合施設となるため、区が中心となり、設計段階から管理運営に配慮した計画とすること。加えて工事中の代替施設の確保や区内事業者への配慮しつつ、透明性のある事業者選定を行うこと。屋内遊び場のコンセプトが「木のぬくもりを感じられる場等」、区民に分かりやすい表現に改められた点を評価する。引き続き、子どもの意見を聞き、障害のある子どもも安心して遊べる、誰もが利用しやすい施設となるよう計画を進めること。

(2)研究会の開催  
●「公共施設更新問題への挑戦」をテーマに、GON研究所代表の志村高史氏を講師に迎え、研究会を開催した。将来の人口減少に伴う財政予測や、先進自治体である秦野市の具体策、将来世代に負担を残さない施設最適化について講義を受け、区の公共施設マネジメントへの知見を深めた。

●災害対策調査  
2月19日 報告事項3件  
報告に対する主な意見等  
●令和7年度の災害時の各初動対応訓練実施結果について報告された。初動対応では、情報の正確な把握、迅速な伝達、コミュニケーションを

含む職員間の連携強化が重要である。ドローン活用や、スマホ不通時のアマチュア無線など幅広い情報手段を検討し、情報の平準化のため部署を横断した訓練を実施すること。また、参加職員のサイクルを工夫し、多くの職員が訓練を受けられる体制構築と頻度引き上げを図ること。さらに、区民への情報伝達や広報、多様な参集手段を検討すること。

●文京区避難所運営ガイドラインの改訂について報告された。新たに追加された「避難所基本情報シート」の作成は、全体像の把握に有効であり評価する。シートに基づくマニュアル作成に向け、区は活動が活発でない協議会への積極的働きかけと、地域の実情に応じた伴走型支援を行うこと。また、災害関連死対策、スフィア基準の徹底、在宅避難の推進等が重要であり、ペトト同行・同伴避難のルールの周知徹底と、同室避難についても検討を進めること。

また、利用できる年齢層が広がったため、トラブル等を未然に防ぎ、現場の声を踏まえながら、若者にとって安心安全で居心地のいい空間を提供し育てていくこと。

子ども・子育て支援調査

2月17日 報告事項7件  
報告に対する主な意見等

●若者計画(令和8年度・令和11年度)最終案について報告された。本計画には約80の事業が盛り込まれ、そのうち30事業が進行管理の対象となっているが、主役である若者に対するアクションが十分に見えない。若者へのアプローチや目指す状態を進行管理に明記し、若者向けの広報や参画方法を検討すること。また、計画に盛り込まれなかった居住費支援に関する施策は、支援を求める声が多いことから、区として重点課題と認識し、家賃補助などの経済的支援の検討について、引き続き取り組むこと。

●若者のニーズを踏まえ開始する居場所事業「Bunkyo Night Youth Lounge」の実施について報告された。交流の場としてだけでなく、心理的支援や困難な課題を抱える若者がいた場合は、関係機関と連携して切れ目のない支援を行うこと。

会議録 速報版のご案内  
会議録の「速報版」を、文京区議会ホームページに掲載しています。  
文京区議会 速報版 検索

会派離脱及び会派結成  
豪一議員は、令和8年1月5日に「自由民主党文京区議会」を離脱し、新会派を結成しました。  
新会派名 自由民主党「誉」(略称名:自民誉)  
幹事長 豪一

会派役職変更

会派名	役職名	変更前	変更後	変更日
自由民主党文京区議会	幹事長	山田 ひろこ	田中 としかね	R8.1.13
	副幹事長	豪一(※)	山田 ひろこ	

※豪一議員は令和8年1月5日に「自由民主党「誉」」に会派変更したため、1月5日から1月12日まで「自由民主党文京区議会」の副幹事長は不在